



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.69
2016年 4月号

公益財団法人
School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

2016年度が始まりました。

皆さんこんにちは。4月に入り2016年度がスタートしました。今年度は新しい精油の原料の模索や、地域の方へのレモングラス栽培の普及など今まで以上に新しいことに挑戦する予定です。お正月は4月ですのでスタッフともども心を新たに仕事に取り組むのにはいい機会だと思います。



改善を重ね、精油の量も増えてきました。



野菜はオクラを中心に作付けます。

◇2016年度の計画

今回は2016年度最初のSAJ Farm通信ですので今年度の予定と目標をまず報告しようと思います。

① レモングラスについて

2015年度は蒸留器を導入した8月から合計で40.6L、月平均で約5Lの精油を生産しました。2016年度は生産をさらに増やし年間76L、月平均で約6.3Lの精油を生産、販売する予定です。また、講習会に参加していただいている農家の方数名に契約栽培をお願いします。講習会も契約農家の方の畑で行い、地域へ普及する際のモデルケースになっていただく予定です。カンボジアに食と職を提供するというSAJ Farmの活動目的が少しずつ形になりつつあります。

② 稲について

2015年度までは年2回お米の作付けを行うことに挑戦してきましたが、雨が少なくなってきたことや、周辺の農家の方と時期がずれることで、すずめ等の害が集中するため、良い結果が出ていません。レモングラスの圃場に切り替えられれば良いのですが、水が貯まるようになっているため難しいです。そこで、周りの農家さんと同様に、雨の多い9月に田植え、乾季に入る12月ごろに収穫を行う年1回収穫に全て切り替えます。出来たお米は孤児院で使う予定です。

③ 野菜について

2016年度はごく少量のみ作付ける予定でしたが、ブノンペンのスーパーから有機野菜が欲しいとの要望が来たため、スタッフの研修をかねてオクラ、トマトなどを作付けする予定です。



雨が降らず干上がる寸前の溜池



レモングラスの生育も緩慢です



母猫とじゃれながら狩の練習中

◇雨の状況

例年よりも雨の到来が遅く、灌水をしながらレモングラスの収穫、蒸留を続けてきましたが、1月以来まとまった雨が降っていないため、いよいよ溜池の水が底をつきそうです。もともと水深 5~6mあるのですが、今では膝丈ぐらいしか水が残っていません。このまま雨が降らない状況が続けば 5 月以降の収穫や、6 月から植える苗の準備が難しくなってきます。そのため、今まで 2ha の畑を灌水、管理していましたが、状態のよい畑をその中から 1ha だけ選び面積を減らすことにしました。これでもう一ヶ月は灌水を続けることが出来ると思います。最近では夜風が強くなり、雷が鳴ることが増えてきたので徐々にですが雨雲が近づいてきています。せめて週 1 回、雨が降ってくれるようになるまでは、今ある水でしのがねばと思っています。そんな天気のためか、今年は農場にあるマンゴーの生育も遅くまだ色づいていません。市場に並ぶカンボジア産の果物もみな小ぶりです。スタッフからも、自宅前の井戸が干上がったたり、水がにごって使えないという報告を受けています。カンボジアでは急速に工業化が進み、森林の伐採が問題になっています。そのひずみが今、出てきているのかもしれない。年々雨季が遅くなり、雨の量も減ってきているそうです。有機農業を行うことが、環境の保全に繋がると信じて続けていこうと思います。

◇子猫が歩き始めました。

先月、農場に新たに仲間入りした子猫の目が開き、自分の足で歩き始めました。母猫はねずみなどの外敵から子猫を守るため、1 週間に一回ぐらいのペースで寝床を引越すのですが、においで居場所がばれないよう子猫の糞を食べる場面にも出くわします。そんな母親の偉大さを感じる中、親の心子知らずというのは人間と一緒に生活している母猫が移動させても好奇心が強くよちよち歩きで這い出てきてしまいます。足元にいつの間にかいて間違えて踏んでしまわないか心配です。最近では乳離れと狩りの練習を兼ねて、母親が捕まえてきたねずみをがんばって食べている光景も目にします。着々と新たなねずみハンターとして成長しているようです。これからも無事成長してくれればと思います。